（議長）
次に、塚本議員の発言を許可致します。

「塚本議員」
議長。

（議長）
塚本議員。

「塚本議員」
え一私からは、本定例会、え一町長の、お一所信表明を受け、え一こん中より、３点程の、お一、質問項目を今回の定例会で、え一提案、え一提出しております。
まず１問目ですが、再生エネルギーの、お一活用についてであります。え一、ま、現状では檜山沖の、お一洋上風力、まぁ促進区域に、い一決まってから、中々、え一事業者公募が、あの一動き出せない。思ったより、え一遅れているというような状況にありますが、今年度、お一江差町地球温暖化対策実行計画（事業、事務事業編、区域施策編）、これらの更新を行うとしております。
エネルギーの、お一地産地消や、え一地域、新電力会社の設立を視野に、え一検討するとしておりますが、具体的に、いーどのような事をお考えになっているのか、お伺い致します。

「町長」
議長。

（議長）
町長。

「町長」
塚本議員の１問目、再生可能エネルギーの活用についてのご質問にお答えを致します。
議員ご指摘の地域新電力は、自治体や地元企業が中心となって、小売電気事業者を設立し、地域の再生可能エネルギーを活用して電力の地産地消や地域活性化を目指すものでございます。
今年度、江差町地球温暖化対策実行計画（事務事業編・区域施策編）の更新を行う事としておりますが、更新にあたっては、私の公約に掲げたエネルギーの地産地消を目指した地域新電力会社の設立の実現に向けたプロセス等を含め、え一検討して参りたいと考えています。
当町と致しましても、地域新電力により町民への電気の供給体制を構築し、町民の暮らしの向上に努めると同時に、災害に強いまちづくり、環境に優しいまちづくりを進めて行きたいと考えております。
え一、そ、その為にも、パートナーとなる民間企業との連携を図り、地域新電力会社に、

の設立に向け、着実に取り組みを進めて参りたいと考えておりますので、ご理解頂ければなぁと思います。

（議長）
塚本議員。

「塚本議員」
え一再生エネルギーの活用につ、ついてでありますが、えー、ただ地域で、あの一作った電源を、まぁ代表し、地に、ただ届けるっていう事だけでなくて、地元に、その恩恵をいかに、あの一還元して行くかという事が非常に、えーこれからの大きな課題となると思いますので、えー、まぁこれらも含めた地域の地産地消、十分あの検討されて、住民にも、お一檜山沖の、お一洋上風力があって、こんなに還元されるのは、という様な事業を是非展開して頂ければなと思います。
続いて２問目の一次産業の担い手不足に対してであります。一次産業の、お一担い手不足が、より深刻な状況となっているのは、ご存知の通りであります。農業者の、農業従事者の中心的な年齢は、既に６０代を超えてきており、まぁ漁業者においても、まぁ若干、若いのかもしれませんが、同様な傾向があるのかなぁと思っておりますが。あ一新規就農者に、いー、まぁ期待するのはもちろんで、え一現在行っている地域おこし協力隊、えー、これも非常に有効だというふうに思っておりますが、中々こういう人がたの数には限定されるところがあるのかなと思っております。
逆にもう既に、え一間もなくリタイアする人。場合には、もう一般的な定年組って言うような年齢。５０代６０代の帰農とも考える制度があってもいいのかなと思っております。中々このー、くらいの年代になると国とか、まぁ主に国ですが、せ、政策的な支援というのは中々ない、そのように私も考えていますが。
大きな収入を得るんじゃなくて、まぁ例えば年金プラス農業の収入だったり、え一年金プラス、まぁ磯周りっていうんですかね、小さな小規模漁業者。まあ、こういう様な方法で、え一収入を得る方法もあっていいのかなぁと思ったりもしております。
え一新規の、お一若手・担い手の定着ももちろん必要で、で、ありますけども、ある意味、中年或いは一部高齢者に差し掛かった人がたについても、新たな担い手対策として視野に入れた支援を検討してみるのも如何かと思いますが、町としての考え方をお伺い致します。

（議長）
町長。

「町長」
塚本議員の２問目、一次産業の担い手対策についてのご質問にお答え致します。
ご指摘の通り、一次産業従事者の高齢化は進んでおり、令和８年４月１日現在の平均年齢は、農業者が６８．３歳、え一漁業者が６３．８歳となっております。特に農業者は５０代以

下の割合が２５．４%となっており、漁業者の３７．０％を大きくし、下回っている為、え、えー、下回っている為、より担い手対策が喫緊の課題となっております。

こうした状況を踏まえ、町では地域農業を担う新たな人材を確保すべく、令和７年１月に地域おこし協りょ、地域おこし協力隊の募集を行い、５月より埼玉県出身の当時２４歳男性１名を採用したところであり、現在当町での就農を目指し、町内農業者を手伝いながら営農に関するノウハウを学んでいるところでございます。

議員からは、あー年金プラス、うー農業・漁業での副収入といったご提案も、おーありましたが、町の現在での、現ざ、現時点での考え方と致しましては、一次産業分野における担い手対策を進めるに当たっては、特段の年齢制限もなく、３年に渡り国の財政支援を得ながら計画的に準備を進められる地域おこし協力隊制度の活用は、有効な手段の一つであると判断しており、えー現在、新たな隊員の募集に向けて調整を進めているところでございますので、ご理解願いたいと思います。

（議長）

塚本議員。

「塚本議員」

えー中年・高齢者の、おー担い手っつうのが、中々、えー制度的にも面倒かと思いますが、まぁ場合によっては、こういう、担い手制度もあってもいいのかなぁと思っておりますので、今後も、高齢なってから地域に戻って来て、場合によっては親の面倒見るっていう方も私の近くにおりますし、そういう方が農業の担い手の一部を担うという方法もあっていいのかなぁと思いますので、今後も、これらの活用方法については、ご検討頂ければと思っております。

えー続きまして、３問目に入らせて頂きます。えー中期財政運営、えー方針及び、いー財政基盤強化に向けた取り組みの策定についてであります。本年度、新しい道の駅が令和９年度開業に向け、建設が進んで来ております。

ちょっと訂正をお願いしたいんですが、今後、大きなガードって書いてますが、これハードの間違いですので、訂正をお願いしたいと思います。

まぁ今までの継続事業で、えーハード事業は、まだ、ありますけども、新たなハード事業が、今後、暫らく無いものと考えております。まぁ人きょう、人口減少が続く中でも、年々様々な、ぎょうけ、行政コスト、これらが上昇してき、してきている中で、住民サービスを低下させずに財源の基盤をどう、どのように、えー安定化させて行くのかっちゅうのは、大きな課題であると思いますので、えーそれらの、おー手法について、お伺い致します。

「町長」

議長。

（議長）

町長。

「町長」

塚本議員の３問目、中期財政運営方針及び財政基盤強化に向けた取り組みの策定についてのご質問にお答え致します。

えーご承、ご承知の通り、え、現行の町の中期財政運営方針及び財政基盤強化に向けた取り組みにつきましては、今年度末をもって計画期間の５年間を完了するところであり、現在、向こう５年間の新たな計画策定に向け財政シミュレーションの分析把握を進めております。

今後におきましても、掲げた財政ほ、えー、財政方針に基づき、健全化判断比率や財政負担の平準化に留り、留意の上、規模内容についても十分に検討しながら計画的な事業執行に努めて参ります。

また人口減少社会の進行に伴って町税や地方交付税の減少が予測される中、昨今の物価高騰により、人件費や扶助費、物件費等が上昇しております。限られた資源を最適配分する観点では、社会情勢や住民ニーズの変化に合わせて、より良いサービスに繋げられるよう前例踏襲に捉われる事なく、ゼロベー、ゼロベースから事務事業を見直して参ります。

加えて人件費や委託費等の一般財源支出を抑制し、事務効率化と省力化を図る事で捻出された経営資源を行政サービスで循環させる為、業務のデジタル化と行政のＤＸを進めて参ります。更に人口規模や利用実態など、地域の実情に応じた施設の最適配置についても重要な視点となりますので、町有施設の統廃合は現実的な選択肢に入ってくるものと考えております。

一方で歳入強化策についても、積極的に取りくな、取り組まなければなりません。

新・道の駅の開業、その先の洋上風力発電事業を好機と捉え、新たな返礼品開発によるふるさと納税の増額を図ると共に、来訪者が新・道の駅と下町・上町を巡回し、楽しんで貰える仕組み作りや、交流人口の増加を見据えた飲食業に対する支援策を講じる事で、経済成長による税収増の好循環に繋げて参ります。

また、ガバメントクラウドファンディングを含めた企業版ふるさと納税の獲得、基金の債券運用の検討、使用料・手数料の見直し、町有地の売却など、多様な歳入確保策についても積極的に取り組んで参ります。

こうした歳入歳出の基盤強化策を両輪で進め、取り組む事、と、取り組む事によって、住民サービスを維持向上しながら、中長期的な視点で持続可能な財政基盤を構、構築して参る所存でございます。

本年度中には今後の財政見通しを明確にした上で、具体的な財政基盤強化策を取りまとめ、議会及び町民の皆様にお示ししたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

（議長）

塚本議員。

「塚本議員」

まぁ現時点での、お一新たな大型の、お一事業、目に見えるものはそんなに無いんですが、まぁインフラ等の整備に対しても、今後、多額の、お一費用が、え一必要な場面が、十分出てくる可能性があると思いますので、まぁ財政をしっかり安定させる為の努力を今後も継続して続けて頂くようにお願いして終わります。

（議長）

以上で塚本議員の一般質問を終わります。